

クマガク公開講座 WEEK 2018

受講料は、1講座500円。講座ごとに申込みが必要です。(複数の講座に申込みできます。)
ご希望の講座タイトルの「申込」欄に○をおつけください。

月日	時間	申込	No.	講座タイトル	講師
9/10 (月)	午前 11:00 ~ 12:00		1	「大人のビジネスマナー」	徳永 彩子
	午後 14:00 ~ 15:00 15:30 ~ 16:30		2	「医療、社会福祉の新たな視点 (内なる力Empowerment)」	高倉 統一
			3	「スペイン語ABC」	岡村 一
	夜間 18:00 ~ 19:00		4	「災害と社会的弱者: 熊本地震における熊本学園大学の避難所の経験から」	花田 昌宣
9/11 (火)	午前 11:00 ~ 13:00		※5	「音楽を楽しみましょう」	大津山 姿子
	午後 14:00 ~ 16:00		※6	「ごみはどこに行ったのか」	中地 重晴
	夜間 18:00 ~ 19:00		7	「西メコン地域の交通を考える」	伊津野 範博
9/12 (水)	午前 11:00 ~ 12:00		8	「現代社会と健康 — 運動でアクティブな毎日を —」	府内 勇希
	午後 14:00 ~ 15:00 15:30 ~ 16:30		9	「地球温暖化問題による社会・経済への影響と対策」	坂上 紳
			10	「地元の国際女性「矢嶋楯子」」	米岡 ジュリ
	夜間 18:00 ~ 19:00		11	「出川イングリッシュはヤバイ！」	米岡 ジュリ
9/13 (木)	午前 11:00 ~ 12:00		12	「人間の成長を促す健康論 — ウェルネスについて —」	橋本 公雄
	午後 14:00 ~ 15:00 15:30 ~ 16:30		13	「カウンセリングを学びましょう」	山崎 史郎
			14	「ストレスと健康 — ストレス社会をよりよく生き抜くために —」	橋本 公雄
	夜間 18:00 ~ 19:00		15	「地域政策学入門」	向井 洋子
9/14 (金)	午前 11:00 ~ 12:30		※16	「ボードゲームを通じて学ぶ簿記の意義」	小谷 学
	午後 14:00 ~ 15:00 15:30 ~ 16:30		17	「社会生活と税のはなし」	末永 英男
			18	「心打つ演説の条件 — 西洋の知恵に学ぶ —」	佐藤 勇治
	夜間 18:00 ~ 19:00		19	「徳富蘇峰と栗須七郎 —1927年の書簡をめぐって—」	矢野 治世美

※講座No.5 は、ピアノ実技あり。11時~13時で120分の講義。(初心者優先・定員15名)

※講座No.6 は、14時~16時で120分の講義。

※講座No.16 は、11時~12時30分で90分の講義。

フリガナ氏名				
年齢	歳	性別		職業
住所	〒			
連絡先	() —			

事務局使用欄

※申込書に記入された個人情報は、講座の運営に関する目的以外には使用いたしません。



今年もやいます!

クマガク公開講座 WEEK 2018

暮らしに学びを、地域に元気を。

切り取り

熊本学園大学は地域に根ざす大学として、知の財産を広く社会に還元するために、早くから生涯学習の場を提供してきました。これまでに、平成3年に初めて開講した「熊本学園大学公開講座」、熊本日日新聞社との共催事業である市民公開講座「DOがくもん」、人吉市でおこなわれている市民向け公開講座「ひとよし花まる学園大学」、水俣学研究センター主催による市民向け「公開セミナー」「公開講座」など、数多くの講座を開講してまいりました。

昨年、これまでの公開講座に加えて、新たに社会一般の教養の涵養を目的とした公開講座「クマガク公開講座 WEEK」を開講いたしましたところ、多くの皆様からご好評をいただきました。そこで、地域の皆様のご要望にお応えし、研究、教育に加え、社会貢献・地域貢献を図るため、昨年に引き続き、今年も「クマガク公開講座 WEEK2018」を開講いたします。



「クマガク公開講座WEEK 2018」 講座一覧

	9月10日(月)	9月11日(火)	9月12日(水)	9月13日(木)	9月14日(金)
午前	11:00 1 大人のビジネスマナー 徳永 彩子 (商学部講師) 今更人に聞けないマナーもおありかと思ひます。本講座では、挨拶などの基本的なマナーと冠婚葬祭のマナーについて学びます。感じのよい挨拶や自己紹介の仕方、冠婚葬祭の予備知識やマナーを知ること、豊かな生活を送ることを目指します。	5 【ピアノ実技/初心者優先】 音楽を楽しみましょう 大津山 姿子 (社会福祉学部講師) 日常生活の中で溢れんばかりの音楽を鍵盤楽器を使って楽しんでみませんか。まず、昔、懐かしい曲を弾くことに挑戦し、いろいろな音色を使い、皆さんでアンサンブルを楽しむ時間の予定です。 ※この講義は11時～13時の2時間で実施いたします。 ピアノ実技のため別教室です。定員15名限定 (13:00)	8 現代社会と健康 —運動でアクティブな毎日— 府内 勇希 (社会福祉学部准教授) 産業革命以降、人類はさまざまな機械を発明しめざましい文明化を遂げましたが、その一方で極端な身体活動の低下をもたらしました。ライフスタイルに運動を取り入れることは健康の維持・増進につながり、生活習慣病をはじめとするさまざまな疾患の予防に役立ちます。本講座では、効果的に健康づくり運動を行うためのポイントや、楽しみながら実践できる方法をお伝えできればと思います。	12 人間の成長を促す健康論 —ウェルネスについて— 橋本 公雄 (社会福祉学部シニア客員教授) 人間の成長を促す健康論としてウェルネスについて話題提供します。まず、健康やウェルネスの概念を解説しつつ、マズローの欲求5段階説を援用し、健康を手段として生きる生き方を検討し、またチクセントミハイのフローの力動的モデルに準拠し挑戦的課題達成に向けた日々の戦いの中に自己成長があることを主張したいと思います。	16 ボードゲームを通じて学ぶ 簿記の意義 小谷 学 (商学部准教授) この講義は、簿記を学習したことにはないが、何らかの関心を持っているような方を対象としています。講義では、ボードゲームをプレイしつつ、簿記の意義を考えます。皆さんは経営者としてビジネスを行うとともに、その結果を思い思いの方法によって記録します。このような作業を通して、簿記の優れた点を考えます。 ※この講義は11時～12時30分の90分で実施いたします。 (12:30)
	14:00 2 医療、社会福祉の新たな視点 (内なる力Empowerment) 高倉 統一 (社会福祉学部准教授) 医療、社会福祉の領域での利用者のEmpowerment (内なる力)とは何かを皆さんと一緒に考えたいと思ひます。患者は、病気を治してもらっている人、という考え、福祉サービスの利用者は人から世話を受けている、という考えからの脱却が、この講義の主なテーマです。	6 ごみはどこに行ったのか 中地 重晴 (社会福祉学部教授) 廃棄物最終処分場による環境汚染や不法投棄、ダイオキシン汚染が社会問題になって久しい。最近、廃棄物による環境汚染や不法投棄問題がマスコミに取り上げられなくなった。ごみ問題は解決したのだろうか。最近のごみ処理事情を解説する。あわせて、熊本地震で発生した震災廃棄物がどのように処理、処分されたのか。震災がれきの行く末を紹介するとともに、課題と教訓を解説する。 ※この講義は14時～16時の2時間で実施いたします。 (16:00)	9 地球温暖化問題による 社会・経済への影響と対策 坂上 紳 (経済学部准教授) 地球温暖化問題は、高温化による健康・生活・経済への悪影響や海面上昇など現在・将来の世界の社会・経済に様々な形で影響を及ぼすと考えられており、これまで、京都議定書やパリ協定など国家間において地球温暖化対策が協議・実行されてきました。この地球温暖化問題における影響と対策について解説します。	13 カウンセリングを学びましょう 山崎 史郎 (社会福祉学部教授) カウンセリングの原理を学び、最初の一步の練習をしてみましょう。皆さん、プロのコウンセラーを目指すわけではありませんが、日々の暮らしの人間関係に生かすヒント、技術に触れられます。参加資格はありません。高校生からシニアまで、どなたでもご参加ください。	17 社会生活と税のはなし 末永 英男 (会計専門職大学院教授) 古今東西の税にまつわる面白い話をします。税は、私たちの生活と切っても切れないものとして存在しています。しかも「公平」や「正義」を意識させてくれるものです。しかし、本当に理解しようと思えば、税法という法律の中で最も難解な怪物と格闘しなければなりません。怪物は置いて、楽しくやります。
午後	15:00 15:30 3 スペイン語ABC 岡村 一 (外国語学部教授) スペイン語は話者の数では3位、話されている国・地域の数では1位の大言語です。しかしわたしが惹かれる一番のわけは、その響きの力強さ、明瞭さです。政治家の演説などを聴いていると、スペイン語の響きにうっとりとなり、内容を理解するのを忘れてしまうことさえあります。今回の講座では、こうしたスペイン語の簡単な表現を、みなさんに口にしていだきたいと考えています。	10 地元の国際女性「矢嶋楯子」 米岡 ジュリ (外国語学部教授) 江戸時代、益城町に生まれた矢嶋楯子さんは明治になって上京し、女子教育や女性地位の向上など、社会改善に多に貢献しました。第一次大戦後の欧米でも有名になり、新聞で「世界一有名な日本人女性」や「世界平和の女神」とまでよばれるようになりました。地元ではほとんど知られていない、この素晴らしい「肥後の猛婦」の伝説をお話します。	14 ストレスと健康 —ストレス社会をよりよく生き抜くために— 橋本 公雄 (社会福祉学部シニア客員教授) ストレスという言葉からはあまり良いイメージは湧いてこないと思います。しかし、私たちはこの世に生まれ出でて死ぬまでストレスに晒され、成長も発達もしているわけです。実はストレスには快ストレス(eustress)と不快ストレス(distress)があり、ストレスは必要不可欠なものです。本講義ではわかりやすくストレス善玉論を展開してみたいと思います。	18 心打つ演説の条件 —西洋の知恵に学ぶ— 佐藤 勇治 (外国語学部教授) 欧米の政治家や聖職者や財界人の演説を聞いてみると、心打たれるものに出会います。この講義では、フランクリン・ルーズベルト大統領、マーティン・ルーサー・キング牧師、スティーブ・ジョブズ社長の演説に込められた感動の秘密を、構成や表現技法の面などから解き明かします。演説は英語ですが、日本語訳も使いますので、英語に不安を感じる方でも安心して参加できます。	
	16:30 18:00 4 災害と社会的弱者:熊本地震における 熊本学園大学の避難所の経験から 花田 昌宣 (社会福祉学部教授) 2年前の熊本地震、昨年および今年の豪雨災害と大きな災害が続いています。このような災害の中でどのように行動したらよいか、また、そうした状況下で障害者や高齢者の避難はどう考えたらいいのか。熊本学園大学の避難所の経験を踏まえてお話します。	11 西メコン地域の交通を考える 伊津野 範博 (商学部准教授) タイとミャンマーは陸続きにもかかわらず、ヒト、モノのすべてが陸路で移動しているわけではありません。両国の貿易は活発化しているものの、国際道路は一つしかなく、将来的に限界が生じるでしょう。そこで、既存ルートのみならず、代替ルートの可能性を検討し、長期的な視点からメコン地域西側のゲートウェイとしての港湾開発の妥当性を考えていきます。	15 地域政策学入門 向井 洋子 (社会福祉学部准教授) 地域政策とは何かという問いから熊本という地域に目を向けます。そのうえで、熊本が抱えている問題に目を向け、行政と一緒に解決する方法を考えます。	19 徳富蘇峰と栗須七郎 —1927年の書簡をめぐって— 矢野 治世美 (社会福祉学部准教授) 栗須七郎は、大正・昭和前期に活躍した水平運動の活動家です。部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくすための戦いに生涯を捧げ、「水平の行者」と呼ばれました。近年、栗須が熊本出身の言論人・徳富蘇峰にあてた書簡が残されていたことがわかりました。書簡の内容とその背景についてご紹介します。	
夜間	19:00				

■募集要項 (共通)

- 対象: 社会人・学生 (高校生以上)
- 定員: 各30名 (※講座No.5の「音楽を楽しみましょう」は定員15名です。)
 - ※申込みが一定の人数に達しない場合は開講を中止する場合があります。
- 受講料: 1講座につき500円 (高校生は無料)
 - ※受講料は当日受付にてお支払いください。(お釣りが無いようお願い致します)
- 募集期間: 平成30年8月21日(火)～9月3日(月) 必着
- 申込方法: 裏面の申込書にご記入の上、郵送、FAX、メール添付のいずれかで、右記のあて先まで送付してください。後日、受講証をお送りいたします。
- 会場: 本学14号館1階教室
- その他: 駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

■託児サービス(有料)のお知らせ

講座開催期間中、託児サービス(有料)を実施します。ご利用を希望される方は、事前の申込みが必要です。(当日のお申し出はお受けできません。) 詳細につきましては下記までお問合せください。

■お申込み・お問合せ先

〒862-8680
熊本市中央区大江2丁目5-1
熊本学園大学 地域連携センター「クマガク公開講座WEEK 2018」係
FAX: 096-366-3158 TEL: 096-364-8729 (直通) メール: chiiki@kumagaku.ac.jp
※申込書は熊本学園大学のホームページからもダウンロードできます。http://www.kumagaku.ac.jp